

## 抗ウイルス性予備試験

2002.2.20

ササゲ-CMV の系で予備的に生物検定をした結果は次のとおり。

### 方法

ササゲ初生葉の片方に試験液を、対葉に溶媒を塗布し、15分後にCMVを汁液接種、3日後に出現する局部病斑数を計測。

感染阻害率は、 $1 - (\text{試験区病斑数} / \text{対照区病斑数})$  を100倍して算出。

### 結果

#### 1. マリネックス (蒸留水で10倍希釈)

サンプル	1	2	3	4	平均
処理区	42	40	19	14	66%
対照区	15	36	86	36	

#### 2. マリネックス (0.1M リン酸緩衝液 pH7.0 で10倍希釈)

サンプル	1	2	3	4	5	6	7	平均
処理区	7	11	4	6	7	9	8	14%
対照区	83	70	31	8	37	88	42	

### 考察

- ・pH調整を行ったマリネックスには、きわめて強力な抗ウイルス効果がある。
- ・感染阻害と増殖阻害の有無、抗ウイルス成分の分画などを行う必要がある。